

(注意)

- 1 受験番号は、2箇所とも必ず記入すること。
- 2 評点欄は、記入しないこと。

受験番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

A 1

評		点	
第二問			0

小数点

※	受験番号

令和二年度入学試験解答用紙
 国語 (人文学部・教育学部受験者用)

(4枚の2)

評		点	
第二問			0

小数点

第二問

問一

① くもい

② かたがえ

問二

A 主人公

B 御匣殿

D 主人公

問三

作者が、都から関東への旅立の日を明日と決めた事。

問四

紅葉狩りから帰った後で、あなたが明日旅立つ別れの挨拶に
 来て下さった事を、私はうかがったことでした。

問五

御	匣	言	む
殿	の	う	気
に	の	の	持
対	紅	で	。
す	葉	、	
る	狩	御	
気	り	自	
持	で	分	
で	行	の	
、	違	の	
、	っ	い	
作	、	だ	
者	た	と	
が	事	、	
暇	を	か	
乞	、	ら	
い	御	か	
に	匣	い	
伺	殿	っ	
っ	が	恨	
た	恨	別	
の	み	れ	
に	が	を	
、	ま	惜	
御	し	し	
	く	し	

[注意]

- 1 受験番号は、2箇所とも必ず記入すること。
- 2 評点欄は、記入しないこと。

受験番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

A 1

	評	点	
第二問		0	

小数点

受験番号	

令和二年度入学試験解答用紙
 国語 (人文学部・教育学部受験者用)

(4枚の3)

	評	点	
第二問		0	

小数点

第三問

問一

① 自
より

② 子
し(のとき)に

③ 輒
すなはち

④ 尚
なほ

問二

今まで一度も貧しい暮らしを嫌がることはなかった

問三

妻に休む暇なく家事をしてもらわねばならず、食事は漬け物ばかりの貧乏生活を送る苦勞と、そうした中でたまに干し肉を食べるようなささやかな贅沢ができる喜び。

問四

C 不能語	かたる(こと)あたはず
D 今雖存	いまぞんするといへども

問五

去
と(臨)終

[注意]

- 1 受験番号は、2箇所とも必ず記入すること。
- 2 評点欄は、記入しないこと。

受験番号							
------	--	--	--	--	--	--	--

A 1

評		点	
第四問			0

小数点

受験番号	
------	--

令和二年度入学試験解答用紙
 国語 (経済科学部・医学部・創生学部受験者用)

(4枚の4)

評		点	
第四問			0

小数点

第四問

問一

悟人声
 づでを
 た勝合
 場手にせ
 面。落て
 ち読
 込み
 ん上
 でげ
 いら
 たれ
 こた
 と言葉
 を葉
 一に
 瞬
 に自
 し分
 て一

問二

依存症の新しい仲間
 うこのがでいきる仲間
 前にながでいきる仲間
 されながでいきる仲間
 未だ新しい仲間
 のいきる仲間
 自るる仲間
 分仲と仲間
 と間いと
 出とうと
 会出効出
 う会果会
 こうとう
 とこ'こ
 がと薬と
 でで物で
 き'が
 る回な過
 と復い去
 いの住の
 う意活自
 効欲が分
 果が当と
 。刺た出
 激り会

問三

薬物使用にハマる
 沸く使用にハマる
 る気こ使用にハマる
 しあうこ使用にハマる
 薬物使用にハマる
 物てあ虐
 使もりの
 用'で
 を薬先偽
 止物の悪
 めの長的
 るなさな
 かいに話
 を今気が会
 持日が場
 っ一減場
 て日入に
 いを'爆
 る確て笑
 。認やが

問四

急性期病棟での
 能感に'期
 新人の医'て
 一人の師でえ
 後考のイ'あ
 う事えイ'あ
 とのれン'あ
 に健るト'あ
 気康機に自'あ
 付さ会声分い'あ
 くを'あ
 こ信情か'あ
 とじ報けま'あ
 が'あ
 で'あ
 きい'あ
 たの'あ
 か自伴こ'あ
 ら由走と意'あ
 。'あ
 を応'あ
 保援依ら'あ
 障す存自し'あ
 する者助て'あ
 るとが'あ
 配い今ル'あ